

1 平成 27 年度 普通会計決算状況(総括)

普通会計決算の概要

1 調査団体数

平成27年度財政状況調査の対象となった普通会計団体数は次のとおりである。

市	町	村	一部事務組合	調査団対数
19	23	35	62	139

2 決算規模

平成27年度の調査団体の普通会計決算額は次のとおりである。

(単位:百万円、%)

区分	平成27年度(A)	平成26年度(B)	(A)/(B)×100
歳入	1,124,846	1,127,093	99.8
歳出	1,075,602	1,081,332	99.5
差引	49,244	45,762	107.6

3 収支の状況

(1) 実質収支

ア 平成27年度の調査団体の普通会計の形式収支(歳入歳出差引)は、492億4千4百万円の黒字であり、これから繰越事業の財源として翌年度へ繰越すべき財源110億95百万円を差引いた実質収支は、381億4千9百万円で、前年度と比べて55億9千9百万円増加した。

イ 実質収支をみると、139の全団体が黒字となった。

(2) 単年度収支

ア 単年度収支は前年度と比べ78億5千9百万円増加し、59億9千4百万円の黒字となった。

イ 実質単年度収支は、前年度と比べて90億4千4百万円増加し、119億35千万円の黒字となった。

なお、実質単年度収支の黒字要素である財政調整基金への積立金は91億13千万円で前年度と比べて10億5千3百万円増加し、同じく黒字要素である地方債の任意の繰上償還金は39億6百万円で前年度と比べて2億4千1百万円増加した。また、赤字要素である財政調整基金の取崩し額は70億7千9百万円で前年度と比べて1億8百万円増加した。